

事業名称	男山、あかりの魅力アップ事業
団体名・代表者	特定非営利活動法人あかりの街ひめじ 理事 山口政勝
協働の相手方	ひめじ創生戦略室

目的	歴史、文化、人材など多彩な資源がある城の西地区は、その魅力に比較して、今まであまり脚光を集めていない。そこで地域のシンボリック的存在である男山の、何気ない風景に、「あかり」を当て、新たな魅力の創造と隠れた宝の再発見から、地域経済の活性化、地域ブランド向上等により、住み続けたい街という情報発信を行い、関係人口の増加を目指すことを目的とする。
内容	地域のシンボルである男山の八幡宮、水尾神社、千姫天満宮および各神社をつなぐ参道を変色するLEDスポットライトやライン照明また八幡宮の拝殿床に神社ゆかりの画像や姫路市のブランドコピー等をプロジェクションマッピングでの投影、階段手すりにライン照明といったライトアップを行う。また実施状況が周辺からは見えづらいのでサーチライトによる光の放射を行うなど、普段とは違う男山の景色を創出する。
事業経過	7月1日採択通知。7月下旬～8月初旬神社関係者、自治会等へ事業説明及び協力要請。以降も断続的に地元関係者と協議。8月5日 SNS に情報発信に関する協議。9月22日アンケート調査等の業務委託契約締結。9月25,26日準備作業、26日試験点灯、SNS等情報発信始まる。28日ライトアップ開始、アンケート実施、以降10月7日までライトアップ実施、10月8日撤収。21日第1回検証会議。10月後半以降順次経費等支出。11月末報告書等作成。
事業の効果	当初来場見込みは、ライトアップが外部からは見えにくいことや当法人の伝達能力等から2～30人／日程度と想定していたが、連日50名を遥かに上回り、10日間の総計では800人を超えるのではないかと推定している。来場者の感想は、総じて好評であり普段とは異なる表情を発見するという効果は、十分達成できたと考えている。また関係者からも好意的に受け止められており、地域ブランドとしての価値向上にも貢献できたと考えている。
今後の展望	城の西地区では、自治会を始め、いろんな団体が地域のよさ、誇りを見出し、情報を発信しておられる。私たちも、そうした活動の一翼を担い、地域活力の向上に寄与したいと思うが、そのための資金、人材、情報発信には課題も多い。それらの課題解決の方策を見つけ継続して当該事業が実施できるよう努めたい。

【実施団体の事業総括・感想等】

来場者数、アンケートの結果、関係者の評価等から、私たちのライトアップによって、地域のシンボルである男山の新たな魅力を表現、発信できたのではないかと思います。また従来、当法人が非力であった情報発信力も、知人らの協力を得たSNSでの発信が力になり、想定以上の来場者を迎えることができたのは、大きな発見であった。ただ支出が想定を超えたことは、必要な経費であったとはいえ当初の計画の適正について検証する必要があると感じている。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

事業の実施期間中に伺ったところ、多くの方が来場され、ライトアップを楽しんでおられました。従前より継続されているライトアップ事業に、SNSを活用した発信などを組み合わせることで、男山の魅力を伝え、城の西地区の魅力向上を図れたのではないかと思います。また、プロジェクションマッピングにより投影する仕掛けにより、姫路市のブランドメッセージ&ロゴの認知度向上にもつながった素晴らしい事業でした。